

日本での交換留学

お茶の水女子大学
エミリー・ロレス

日本に交換留学に来てから、確かにたくさんのことを学びました。色々な経験をできました。両親と離れて一人暮らしをするのは初めてだったので、毎日自立していくのを感じました。日本語はオーストラリアにいるときよりもずっと早く上達しています。日本に来て最初に気づいたのは、リスニング力がすごく早く上達したことです。日本に来る前に5年間日本語を勉強していたにもかかわらず、日本語の話し言葉を理解して、すぐに返事をするのが苦手でした。返事はまだ遅いですが、リスニング力がほんの数日で大きく向上したことに気づきました。今では、すべての単語が理解できなくても、発音されているすべての音をはっきりと聞き取ることができて、文脈を使って何が言われているのかを理解できます。このようにして、教科書を読むよりもはるかに早く日本語を上達させるのに役立つ実用的なスキルを素早く学んでいます。大学の日本文化の授業のおかげで、生け花、日本食、祭りなどについて学ぶことができました。日本語のスキルとともに、日本文化への理解と感謝の気持ちが強く深まりました。



交換留学生活には多くの困難がありました



が、困難は私がより強くて、より賢くて、より自立した人間になるのに役立っていると思います。オーストラリアの文化は、私の意見では、日本文化と正反対です。例えば、オーストラリアの大学には3つの授業しかなくて、締め切りもそれほど厳しくありません。日本では9つの授業がありますが、いつも厳しい締め切りがたくさんあるので、整理整頓するための新しいスキルを学んでいます。時々少し寂しく感じて、日本人のお友達を作るのが難しいと感じることもありました。時間が経つにつれて、私は徐々に日本人のお友達を作るのが上手になりました。そして、異なる文化を持つ友達を作るスキルは一生を通じて役立つと思いますので、とても貴重でした。

交換留学が簡単に進むように助けてくれた先生とスタッフに感謝します。いつも笑顔で手を差し伸べてくれたアドバイザーの王一瓊さんに感謝します。二番目に、常にサポートと理解を示して、私が抱いたどんな質問にもいつも親切で偏見がない答えをくれた櫻井先生にも感謝します。音羽館のスタッフの皆さんもいつも私の元気を守ってくれて、サポートしてくれて、私が理解できるようにいつも簡単な日本語で説明してくれました。最後に、全部の授業で笑いを誘ってくれた加奈子先生に感謝したいと思います。

お茶の水女子大学でこれまでとても楽しくて充実した経験ができました。